

再任用・再雇用職員・非常勤教員部ニュース

NO. 302
2017, 9, 10

東京都公立学校教職員組合（東京教組）
再任用・再雇用職員・非常勤教員部
〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-6-2 2F
TEL. 03-5276-1311 FAX. 03-5276-1312

再任用・再雇用職員・非常勤教員アンケート

職場の実状を反映した勤務条件改善を

度重なる台風の接近で、不安定な天候が続いています。蒸し暑さと天候不順の中での運動会の練習をされている職場の皆さん、熱中症など健康管理に気をつけてください。

学校を取り巻く環境は、年々悪化してきています。多忙化どころか、まさに、学校こそがブラック企業といつてよいでしょう。私たちの仲間でも健康を崩す人も増えているようです。管理職の横暴な言動に心を痛めている人も少なくありません。今年、初めて新しい勤務形態で夏休みを迎えた方々も多くおられると思いますが、何か勤務上困ったことや疑問に思ったことはなかったでしょうか。そこで職場の実態を把握するために恒例のアンケートを実施します。アンケート結果を集約し、東京教組の協力を得て都教委交渉を行います。勤務条件改善のために皆さんのご協力をお願いします。

「校長権限の強化」「トップダウン」という理念に基づいて進められた「教育改革」は、教育に競争主義を持ち込み、学校を大きく変えてきました。職員会議の伝達機関化、人事異動要綱の改悪、人事考課制度の導入、学校選択制、学校のIT化など、学校現場の多忙化は深刻になり、管理職のパワハラも問題となっています。競争社会に対応するための「教育改革」ではなく、公平な教育を求める国民目線での「教育改革」をめざすことが大切ではないでしょうか。

昨年未から「学校現場の長時間労働問題」がマスコミでも報道され、「勤務時間管理」がほとんどなされていない実態や「給特法」の問題点が広く社会に知られるところとなり、8月末には、中教審が「政策提言」を行いました。我々組合が地道に職場の実態を訴えてきたことが、一定の成果を上げていると言えます。

厳しさを増す教育現場の反映で、定年を待たずに早期退職される方が増えています。また、年金支給開始年齢の引き上げによって、今年3月に退職された方は、満62歳になるまでの期間が無年金となるため「厳しい定年退職後」を過ごすこととなります。まだまだ課題は多く、今後改善が必要です。現職の教職員のおかれている状況の改善と同時に、退職後の再任用・再雇用職員・非常勤教員の待遇改善もあわせて実現させていきましょう！

アンケートは、各単組へ 10月13日（金）までに
（郵送の場合、東京教組・再任用・再雇用職員部へ）

再任用・再雇用職員・非常勤教員の重要書類

再任用・再雇用職員、非常勤教員は、定年前の常勤職員のとくと違い、ご自身で事務処理をしなければならないことがたくさんあります。次の書類はありますか。ご自身の記号番号等を書き入れてご確認ください。こうした書類は、送付される時期が異なりますので、今年再任用・再雇用職員非常勤教員になられた方、もう一度確認してください。再発行されない書類もあります。2年目以降の方もご確認くださいと安心です。

1. 年金証書（公立学校共済組合から送られてきます。）

[年金証書番号]

2. 健康保険被保険者証（最初の任用校で交付されます。）

（再任用短時間勤務職員・再雇用職員・非常勤教員）

[記号 番号]

3. 年金通知書または年金手帳

[記号・番号]

4. 雇用保険被保険者証（最初の任用校で交付されますが、区市町村教委で保管しているところもあります。）

（再任用短時間勤務職員・再雇用職員・非常勤教員）

[被保険者番号]

5. 厚生年金保険年金証書

再任用短時間勤務職員・再雇用職員・非常勤教員在職で、2年目以降「特別支給の老齢厚生年金」の受給を社会保険事務所に申請した方

6. 宿泊施設特別利用者証（年金受給者・公立学校共済組合）

（最初の任用校で交付されます。）

[会員番号]

7. 東京都福利厚生事業団カード

[会員番号]

8. 東京都教職員互助会退職互助事業特別会員証

（加入希望者のみ、最初の任用校で交付されます。）

2017年有名人の「平和への思い」

今年の夏は、さまざまな著名人の戦争体験に関する言葉を聞く機会があった。戦争の影が押し寄せているそんな空気を感じての発言や著作にふれたと思っている。自らの命の時間を感じる世代（私を含めて）に入る方々の真剣な思いを受け止めていきたいと感じた。

仲代達也氏 8月5日TBS「報道特集」

「徒歩で行く途中に空襲警報が鳴りまして、焼夷弾がバラバラ落ちてきて、これはいかんと思って逃げ回っているときに、まだ小学生でもないような女の子がひとり逃げているんですね。全然知らない子ですけど、その子の手を握って逃げ回っていたら急に手が軽くなったんですね。見たら、焼夷弾が彼女に直撃して、私はその腕だけ持っていたと。自分もやられたかなと思ったんですけど、かろうじて私に当たらないでその女の子に当たって、その手だけ握ってたんですね。恐怖のあまりにその手を捨てて逃げてしまったんですけど、その手を捨ててしまったことを私はいまだ後悔しております」

これは「山の手大空襲」と呼ばれる東京大空襲後の大規模空襲で、渋谷、表参道、赤坂などを標的に6000トン以上の焼夷弾が投下され、2万2000人の死傷者を出している。彼はこの空襲を生き延びた。

「戦争を体験したこともない人たちに、最期に「戦争反対」っていうのを唱えて死んでいきたいですね」とは、今の政権への痛烈な批判であろう。

西村京太郎 「15歳の戦争—陸軍幼年学校『最後の生徒』」集英社新書

氏は八王子長房にあった東京陸軍幼年学校に1945年4月14歳で入学し、8月29日までの間過ごしたそうである。特に、「8月2日、B29による未明の空襲」として「八王子空襲」について、詳しく書いています。生徒宿舍の防空壕がいっぱいだったため、『雄健神社へ行こう』と決めて走り出した。～中略～雄健神社のある丘には、二・三十人の生徒たちが集まってきていた。誰もが疲れきっていて座り込んでいる。この空襲で7人の生徒と3人の教師がなくなった。私たち1年生の生徒の死者は、1人。名前は及川である。クラスも違い、言葉も交わしたことがないこの生徒の名を覚えているのは特別な理由があるからだろう。

「私たちは、入校と同時に短剣を渡された。この短剣は、天皇陛下からいただいたものであるから、常に身に付けていなければならない。」と繰り返し教えられていた。だから私（と友人）も腰につけて、雄健神社まで逃げた。ところがその及川は、短剣を忘れて生徒舎を飛び出してしまった。気が付いた及川は短剣を取りに引き返して、死んだ。

西村氏は続ける。「校長はこの及川を絶賛した。彼は靖国神社に祭られた。学校の外まで逃げた生徒は叱責された。高い幼年学校の塀が空襲のため壊れた際、日本刀を持って、歩哨にたたされた。地下倉庫にあった食料、衣類、道具を地元の民から守るためだった。国民を守れとは、教えられなかった」と。こうした戦争の実態を知らない首相に「憲法改悪～9条否定」をさせるわけにはいきません。

秋の交流会 11月18日(土)

中野哲学堂周辺

昼食交流会もあります

天候不順の8月が終わり、二学期が始まりました。これから忙しくなる現場ではあるかと思いますが、秋も深まった11月のひと時、恒例の『秋の交流会』を開催致します。計画の概要が決定しましたので、ご案内いたします。

今回は中野区にある哲学堂周辺の神社・仏閣の歴史探訪です。毎年お世話になっている嘱託員の先輩である太田恵康先生にも体調が良ければ案内をお願いしています。散策後、昼食を兼ねて交流会を行います。各地区の様子など報告していただき、親交を深めたいと思います。たくさんの方の皆さんの参加をお待ちしています。

期 日 11月18日(土) 10時00分集合・15時頃まで

(交流会を含めて)

集 合 西武新宿線 沼袋駅

散策場所 ①実相院 ②百観音明治寺 ③禅定院 ④貞源寺
⑤哲学堂 以上

昼食・交流会 13時30分頃から15時頃。

昼食会場所 未定

参加費用 3,000円程度

参加方法 ①散策・昼食会の全行程参加 ②散策のみ参加 ③昼食会のみ参加
ご都合によって参加ください。

※人数によって交流会 会場が変更になることがあります。変更の場合は、参加を申し込まれた方にお知らせします。

参加申込み 10月末日までにお名前、参加方法を

東京教組 (FAX03-5276-1312)

秋の交流会参加申込み書 (このページ用紙のままFAXしてかまいません)

お名前	単組(現・元)	連絡先(できれば)
	職場	

1 散策・昼食会の全行程参加 2 散策のみ参加 3 昼食会のみ参加

※ いずれかに○印をつけてください。

当日の連絡先 090-5582-9163 E-mail linkenn1956@yahoo.ne.jp 林 健